

本時のねらい

- ・集団行動を撮影して、視聴をすることにより、自己や仲間の演技を評価して今後の活動につなげる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・他のチームの演技を評価し、何が良かったのかを分析する活動を通して、具体性をもった改善点を出せるようにする。
- ・個人の振り返りをクラスで共有し、意見や考えを比較する機会とする。

活用したICT機器○デジタル教材○コンテンツ等

- ・授業支援ソフト（ロイロノート）
- ・投影用プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 「集団行動を自分たちで評価しよう。」 ○前回の授業で撮影した集団行動の動画と、振り返りシートをロイロノート上で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の様子を共有することで、本時に対する意欲の向上を図る。
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に撮影した各チームの演技動画を、課題演技、自由演技の順番で視聴する。【写真1】 ○撮影した動画を視聴しながら、ロイロノートのアンケートカードで振り返りシートの入力をする。 例：動きを合わせるためには、目を配ることを意識することが大切だと感じた。 ○振り返りシートを使い、意見を共有する。 ロイロノートのアンケート機能を利用するので、リアルタイムで生徒の評価が集計される。そのデータをもとにクラス全体で、良かった点などについて話し合う。【写真2】 例：列を乱さずに行進できている点や、方向転換や隊列の変化がスムーズに行えている点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画視聴時は生徒が動画内容を確認しやすいように、生徒が持っている1人1台端末にも、画面共有して視聴できるようにする。 ・振り返りシートには、できるだけ具体的な内容を記入できるように声をかける。 ・授業者は演技チームの改善点だけでなく、良かった点に注目し、何がどのように良かったのか、今後どのような場面で、今回の学習が生かせるのかについても言及する。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ロイロノートに今回の単元の振り返りを記入させ、記入したアンケートを提出する。【写真3】 ○ロイロノートで集約したアンケートを用いて本時のまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の学習が、今度どのような場面で役立つのかについて、生徒が発言し、本時の学習の意味を再確認させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】生徒が自分の端末で、授業者が撮影した動画を視聴している様子。



【写真2】生徒が他のチームを評価した内容について授業者が集約し、共有している様子。



【写真3】生徒が授業の振り返りをまとめている様子。

児童生徒の反応や変容

- ・自身の演技や、他の生徒の演技を動画で見ることにより、自他の良い点に気づき、文章にしてまとめることができていた。
- ・統一感があるか否かなど、客観的に見なければ分からない点について意識を向けることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・他者からの意見をすぐにフィードバックすることで、生徒自身が自己評価との比較を行い、改善点等に気づききっかけを作ることができていた。
- ・授業を欠席した生徒等にも、授業内容を共有できるので、改めて学級とのつながりをもつきっかけとなった。